



近藤 大介 議員

部活指導員の配置は

教育長

ニーズ把握し検討する



過疎化・少子化は部活にも影響

【近藤】本町の子どもの数が少なくなってきたが、中学校の部活動（運動部）の影響はどうか。教員の負担軽減のため、部活指導員を配置する考えは。

【教育長】部活動の数は減ってきている。団体種目では近隣校との合同チームになることもある。今年度は、サッカー部が名和中・大山中の合同チーム、野球部が山中・名和中の合同チームとなった。

専門外の競技を指導する教員にとっては、大きな負担になっている。

る。新たに始まる部活指導員の制度は、専門的な技術を生かした指導を行うことができるので、今後各中学校のニーズも把握し考えてい。

【近藤】学力の二極化が問題になっている。

部活指導は外部の指導員に任せ、学校の先生は、授業や生徒指導に専念する環境が必要では。

【教育長】学力二極化の傾向はあり、現在は学習支援員や加配教員の配置で対応している。

参道市場の物販は

公社がすべき

町長

公社ではできない

【近藤】大山参道市場でアウトドアメーカーがカフェバーカーと物販の店を運営する計画について、カフェバーカーにどのような効果を期待しているか。

【町長】大山参道の他の店舗にない身近な商品の販売と、365日の営業による集客効果などで、新たな客層の開拓や、継続的な経営への貢献を期待している。

【近藤】参道市場に出店する業者に支払った費用の総額は。

【町長】大山参道のグランドデザイン作成で324万円、参道市場基本設計で540万円



3億5千万円で整備した大山参道市場

を支払っている。他に土地使用料として毎年84万円を支払う。

【近藤】参道市場の物販は、大山恵の里公社がすべきではないか。

【町長】公社ではできないと思う。

【近藤】町から年間1000万円の委託料をもらえるならやってみたいという地元の声もあるが。

【町長】株式会社さんどうが主体的に募集に取り組んだ結果である。